

安祥 **ニコニコ** 通信

安祥地区社会福祉協議会 (安城市安城町城堀30 安祥公民館内)

TEL 77-3214

FAX 77-6062

担当: 神谷

謹賀新年

今年も 各町内福祉委員会では 様々な取り組みをしていきます!



ふ

古井新町



ふれあって

絆を深める
サロン活動



れ

土器田



れんけいし

住民を守る
防災活動



あ

古井住宅



あんしんな

生活を守る
見守り活動



支え合いの
まちづくり
を目指した
活動です。

安城市社協キャラクター
ハートン

い

東尾



いい知識

学んで増やす
学習活動



感謝状

安城市社会福祉協議会会長 感謝状 「植村 敦子さん（東尾）」

また、11/13(日) 愛・地球博記念公園にて「あいち防災協働社会推進大会あいち防災フェスタ」が開催されました。この大会は防災対策の充実強化を図る取り組みを推進するためのイベントです。その中で、古井町自主防災会に愛知県知事より感謝状が贈呈されました。

古井町自主防災会は、昨年度、安城市自主防災組織支援事業のモデル指定を受け、

〔代表で感謝状を受ける杉浦町内会長〕



去る 11/12(土)、文化センターにて「第21回安城市社会福祉大会」が開催されました。この大会は多年にわたり市の社会福祉の推進に尽力いただいた方に敬意と感謝の意を表するもの(3年に一度開催)で、当安祥地区からは13名と9町内会に感謝状・表彰状が贈呈されました。(全お名前は、社協だより12/15号に掲載)

その中で、東尾福祉委員員会主催のサロン活動「寿会」のお世話を13年という長きにわたり続けてみえる植村敦子さんに安城市社協会長より感謝状が贈呈されました。

「寿会」は東尾町内の80歳代・90歳代の方々の集いの場です。

「避難所」に焦点を当てた積極的な取り組みをされました。その実績が評価され、町内住民の「強い協力体制」や「活発な活動姿勢」が地域の防災力の向上に大きく貢献していると認められました。

古井町自主防災会のみなさん
おめでとうございます！



その活動への地道なご協力が地域における高齢者の「閉じこもり防止」や「生きがいづくり」の役割を大きく担っていることと認められました。植村さん

おめでとうございます！
ありがとうございます！

愛知県知事 感謝状 「古井町自主防災会」

「介護者のつどい」にご参加ください！

介護者のリフレッシュや情報交換を目的とした気楽なおしゃべりの場です。

申込み不要、途中からの入退室もOKです。お気軽にご参加ください。

と き 2月4日(土) 午前10時～12時

と ころ 安祥公民館 第1会議室

対 象 介護者・介護経験者・介護に関心のある方

内 容 情報交換・介護相談・血圧測定など

福祉防災講演会のお知らせ

どなたでも参加できます。みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

東日本大震災の現場から



～自衛隊から見た住民の絆～

大震災被災地に派遣され様々な救助・支援活動に活躍した10万人を超える自衛隊員。その隊員たちは現場で何を見、何を思い、その真の状況はどんなものであったのでしょうか？

今回の現状を教訓とし、迫り来る東海・東南海・南海連動巨大地震に備え、日頃からの意識や絆・取り組みについて、住民一人ひとりが本気になって考える場にしていきたい・・・。

2011年3月11日14時26分
あれから約1年・・・

講師 ^{こやなぎ} 小柳 ^{ひろし} 浩史 氏

(自衛隊愛知地方協力本部募集課広報室長)

と き : 2月25日(土) 午前10:00～11:30

と ころ : 安祥公民館 1階 大会議室 参加無料

主催・問い合わせ先

安祥地区社会福祉協議会(安祥公民館内)

TEL 77-3214 担当 神谷

安城市在宅介護支援センター松井

70



法連町8 - 1 (安城老人保健施設内) 電話72 - 5112 担当: 上之

皆さん 明けましておめでとうございます。東日本大地震で大変な年であった2011年も過ぎ去り、又、新しい年を迎える事ができました。私もあと何回、新年を迎える事ができるかわかりませんが、日々を慈しむように過ごしてみえる高齢者の方々に会うと涙が出そうになり、今、こうして生きていることに感謝しなければと思います。

「はつらつさん登場！」

このページでは安祥地区のお元気な高齢者をご紹介します -



今回は、安城町の

とどろき のりお
轟 教雄 さん (85歳)

九州の福岡県八女市生まれ

39歳の時、仕事を求めて愛知県に移住してきました。

妻の名前は“オイシ”さん

同じ小学校の1級下で親が決めたお相手が、奥様のオイシさんです。奥様にお名前を聞くと「まずくても“オイシ”だよ」と答えてくださいます。

山を買う

年齢と共に故郷への想いはつのるばかり。でも、遠く離れて暮らすことを息子さんに反対され、額田町に山を買い、小屋を建てました。

額田が第2の故郷

額田の人たちと酒を酌み交わすうち、意気投合し仲良くなりました。畑では、里芋、大根、こんにゃく、自然薯をつくったり、山の下草刈りをしたりとやる事がいっぱいあるそうです。

元気の秘訣

43歳の時、胃潰瘍で入院して以後、医者にかかることもなくお元気に過ごして見えます。「じっとしていると人間はダメになると思う。」と毎日が活動的です。九州男児ですので、一見、頑固そうにみえますが明るくお話し好きな方で、人をひきつける魅力があります。

— 毎日、番犬を連れて山に出かけますが、「無理はしていないよ」と本人。山の話をしていると目が輝きます。生きがいを持つことが、人間にとっていかに大事かがわかりました —

